



ただし
ぐも雲
な南



問

**統合文教施設の
地域交流センターを活用して
プール、図書館、体育館の
一般開放と伝統文化教育を**

答

交流アリーナ棟の施設は一般開放を想定し、設計を進めている。

問 湯沢町統合文教施設は、地域と学校の協働を進める拠点として地域交流センターを設置し協働型教育を目指している。地域交流センターの運営体制を確立し、プール、体育館、図書館等の施設を一般開放し、地域の力を借りてお茶、花等の日本の伝統文化を教えることが、教育目標である町全体で育てる学校の実現に繋がることとなると思うが方針を伺いたい。

答

交流アリーナ棟の各施設は一般開放を想定して教室棟等の管理区分を明確に設定できるように設計を進めている。運用に関しては学校施設の範囲で社会教育活動に活用できるか、プールや図書館についてはランニングコースや人件費等の経費面、安全面を考慮して今後更に検討を進めて行く必要がある。費用対効果を考えず、今まで色々なものを作られて湯沢町としてまいへん苦労している。

問

**老朽化した
空き家対策条例の
制定を**

答

観光地として安全で美しい景観と住環境保全の観点から、調査し検討した中で条例制定を考えていかなければならない

問

町内に所有者が管理を放棄したと思われる老朽化した崩壊寸前の空き家が出始めている。降雪による倒壊の危険性、防災上の問題点、何よりも美しい雪の町湯沢の景観を損なう結果になってしまっている。建築基準法では自治体が著しく危険な建物の撤去を所有者に命令できるが、具体的な手続きの規定はない。観光の町湯沢の美しい景観を守るために、空き家の適切な管理を所有者に義務付ける条例の制定が必要と思われるが。

答

一般住宅のみならずペンション、旅館、別荘の空き家が増え、中には道路脇で朽ち果てている施設や除雪を行わないため隣接家屋所有者から町に苦情が来る等問題が深刻化している。全国9自治体で空き家対策関連条例が制定されており、観光地として美しい景観と住環境保全の観点から調査検討した中で条例の制定を考えていかなければならないと考えている。

問

**外国人観光客
誘客プロモーションは
中国だけにこだわらず
幅広い対応を**

答

新潟の中国総領事館の支援を受け、魅力ある中国市場へのセールスは継続し、今後も実績のある韓国、台湾、香港、欧米等に対して積極的なセールス活動を行う

問

中国で2年間、現地における誘客プロモーションを実施しているが、湯沢の売りであるスキー観光に対する中国人の意識は希薄であり、継続して今後も続けなければ効果は表れないものと思う。昨年度の外国人客の町内宿泊者数は台湾、香港が54%を占め中国は5%程度である。20年以上にわたり台湾、香港をターゲットにして誘客プロモーションを継続してきた成果である。中国だけを対象にした誘客プロモーションを続けると、長年の努力によって獲得した台湾、香港の人達を逃がしてしまうことが懸念されるが。

答

中国市場へのセールスは確実なものとなるまで継続する。韓国、台湾、香港、欧米への誘客活動は雪国観光圏で国内初の宿泊施設品質認証制度を作りセールス活動を展開している。

問

**来年の上越新幹線
開業30周年は、
JRと共に観光湯沢を
全国に発信する大規模な
記念イベントの実施を**

答

新幹線開業30周年を契機とした誘客プロモーションを関係者に働きかけた

問

昭和57年の世界スキー博を中心とする上越新幹線開業記念イベントには6万5000人の人が訪れ、将来の町の発展に夢を馳せた日から30年。スキー観光の低迷、2014年問題、東日本大震災の風評被害と厳しい状況が続く中、スキー100年と併せて安全安心で元気な観光地湯沢を全国に発信する機会として、JRと共に上越新幹線開業30周年イベント実施に向けた取り組みと併せて駅から観光客が外に出るシステムを構築する必要があると思うが。

答

新幹線開業30周年を契機とし、誘客に繋げるプロモーションの展開は有意義なものと考えている。JR、県等にも働きかけて観光協会、商工会と共に誘客プロモーションができるように働きかけをしたい。